

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	現代の国語		単位数	2 単位
学 科	農業科		学 年	2 年
教科書	新編現代の国語改訂版（大修館書店）	副教材	なし	

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	ことばをひらく 『この春、なにを始めよう』 日本語をつかいこなす	・ 高校生活で取り組みたいことについて、自分の考えを深めたり広げたりする。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 呼吸を意識し、自分の声の届き方を自覚して話すとともに、場面や目的に応じて適切な言葉を選び、適切に使い分けて話す。 ・ 係り受けの関係や指示語の働きに注意して、文や文章の意味を正確に読み取る。
2 学期	わかりやすく説明する 『ナンバーワンか、オンリーワンか』 論理を読み取る 『水の東西』 『人間とA I —創造力の源泉—』	・ 接続表現に気を付けて読み、説明の仕方をとらえる。 ・ 問題提起とその答えを意識し、問題全体の構成をつかむ。 ・ 対比の関係に注目し、その意図を考えながら読む。 ・ 具体例の働きや具体と抽象の関係をとらえ、筆者の主張を読み取る。 ・ 相手と目的に応じた報告文のあり方を理解する。
3 学期	情報と向き合う 『情報の力関係』 『どこもかしこもプラスチック！』 社会に目を向けて 『何のために「働く」のか』 『自分のつくるために』	・ 図との関係に注意しながら、文章を読み取る。 ・ 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。 ・ 筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見を持つ。 ・ 筆者の主張をふまえて、自分の考えを深める。

その他	
-----	--

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	言語文化	単位数	3単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書	新編言語文化改訂版（大修館書店）	副教材	なし

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	ことばと出会う 『言葉の森を育てよう』 『水かまきり』 古文の世界を楽しもう 『いろは歌』 『阿蘇の史、 盗人にあひてのがるること』	- 言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 - 文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 - 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 - 事件の展開と、登場人物の行動を読み取る。
2 学 期	物語を受け継ぐ 『羅生門』 漢文に親しむ 訓読のきまり／格言／再読文字	- 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 - 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 - 漢文の訓読のきまりについて理解する。 - 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める
3 学 期	ことばと多様性 『祖母が笑うということ』 物語の広がり 『伊勢物語』	- 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 - 文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。 登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 - 和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。

その他	
-----	--

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	文学国語	単位数	3 単位
学 科	農業科	学 年	3 年
教科書	標準文学国語（第一学習社）	副教材	なし

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	現代文編 1 随筆 『さくらさくらさくら』 古文編 1 古文入門 『児のそら寝』 現代文編 2 小説 『とんかつ』 漢文編 1 漢文入門 『訓読の基本』	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現を理解する。 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解する。
2 学期	現代文編 3 詩歌 『少年の日』・『I was born』 古文編 2 随筆 古文編 2 随筆 漢文編 1 漢文入門 『五十歩百歩』 現代文編 2 小説 『羅生門』	・リズムや形式に注意し詩を読み味わい、学習課題に沿い、作者の物事に対する感じ方について考える。 ・古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉える。 ・作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割を考える。 ・内容を理解し、発表や討論を踏まえた他者の意見を聞き、さらに考察を深める。
3 学期	古文編 4 物語 『伊勢物語』 現代文編 3 小説 『夢十夜』 漢文編 3 論語 『論語』	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 ・歌物語の特徴や表現に仕方を理解し、内容を捉える。 ・内容・構成を的確に捉える。 ・小説の中に展開する作者の独自の世界を味う。 ・作品に表れているものの考えかた、内容を理解する。 ・作品を理解し、自らのものの見方、考え方を深める。

その他	
-----	--